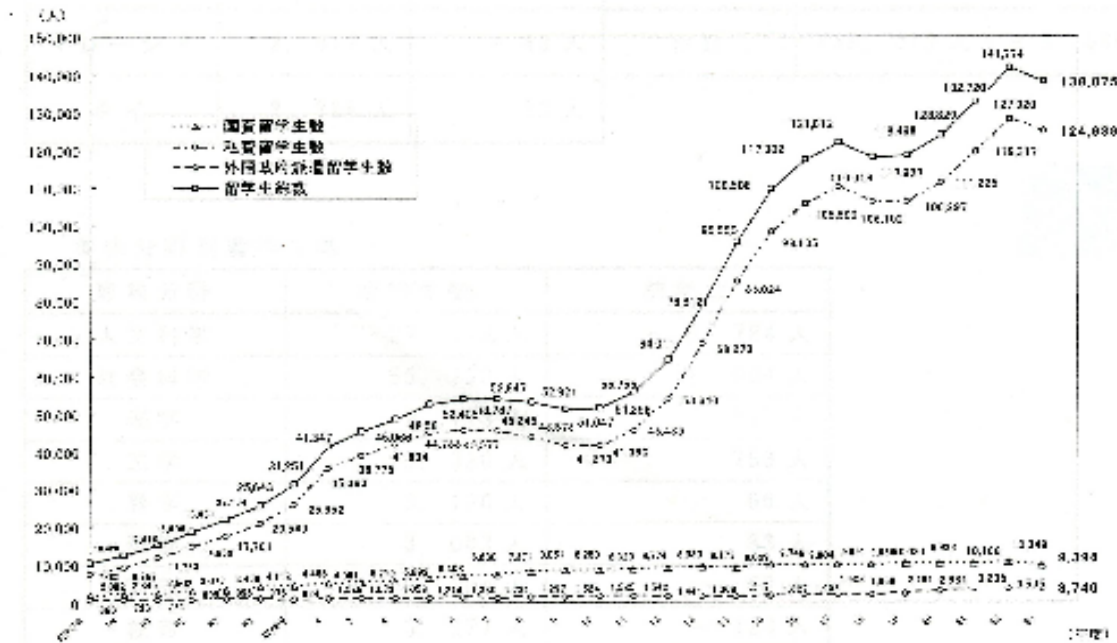


わが国の留学生政策とソーシャルワーク教育の課題 当日配布資料

中部学院大学 ○宮嶋 淳 (120) 平野 華織 (71) 坂元 寛美 (260)

キーワード：留学生政策、ソーシャルワーク教育、文献レビュー

○留学生数の推移



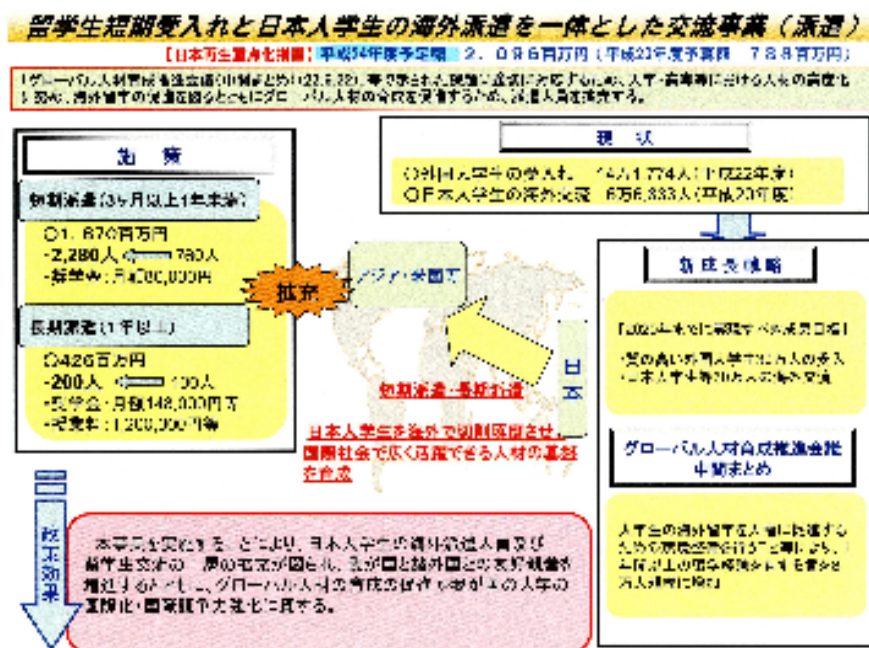
出典：平成 23 年度外国人留学生在籍状況調査結果の公表(2012)独立行政法人日本学生支援機構『ウェブマガジン「留学交流」』11、1

○アジア人材資金構想



出典：アジア人材資金構想 (<http://www.ajinzai-sc.jp/index.html>)

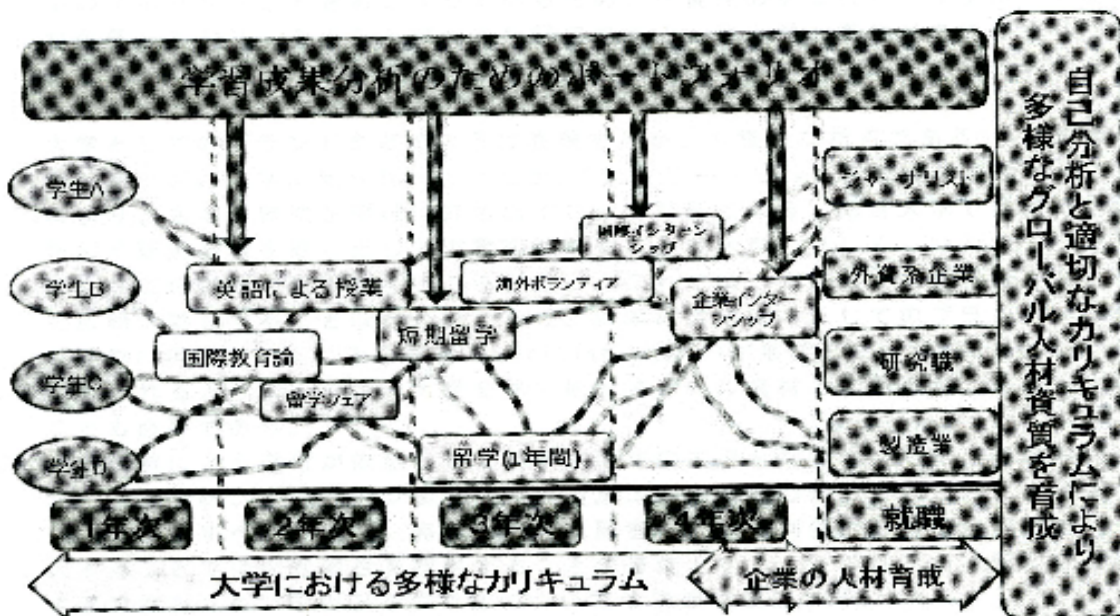
○留学生政策の展開メニュー



出典：平成24年度文部科学省 留学生政策について
 (http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/1306886.htm)

○グローバル人材の育成プロセス

図1 <グローバル人材育成プロセスのイメージ図>
 学習成果にかかわるデータ収集・分析



出典：芦沢真五(2012)「留学生受入れと高度人材獲得戦略」『留学交流』10、1-14

○大学の国際化のチェックリスト

大項目	中項目
①大学のミッションと計画	a)大学の国際化に関する公式ステートメント b)責任ある運営組織 c)中・長期計画と戦略目標の設定
②組織と人員	a)国際化施策に関する意思決定の組織と過程 b)運営組織構成 c)国際化領域の専門的開発と成果点検 d)大学の説明責任
③予算と計画遂行	a)国際化に関わる部署の予算措置 b)予算と計画の遂行
④研究活動の国際性	a)研究の成果発表 b)国際的連携
⑤支援体制、情報管理と基盤整備	a)外国人研究者と留学生の支援体制 b)外国人研究者と留学生の生活支援
⑥国際的提携の多角的推進	a)大学間連携 b)海外拠点 c)地域社会との連携
⑦カリキュラムの国際化	a)語学プログラム b)一般教育プログラム(語学プログラム以外の教養プログラム) c)専門教育の国際化
⑧外部機構とのジョイントプログラム(学術交流、インターシップ等)	a)国際的プログラム一般 b)交換プログラム c)他大学とのジョイントプログラムの評価 d)新規プログラムの開拓

出典：芦沢真五(2006)「大学国際化評価指標(チェックリスト)」大阪大学科研費プロジェクト『「大学の国際化の評価指標策定に関する実証的研究」最終報告レポート』(<http://www.gcn-osaka.jp/project/project-finalreport.htm>)

引用文献

- 浅野慎一(2004)「中国人留学生・就学生の実態と受入政策の転換」『労働法律旬報』1576、20-29
- 芦沢真五(2012)「留学生受入と高度人材獲得戦略ーグローバル人材育成のための戦略的課題とはー」『留学交流』10、1-14
- 芦沢真五(2006)「大学国際化評価指標(チェックリスト)」大阪大学科研費プロジェクト『「大学の国際化の評価指標策定に関する実証的研究」最終報告レポート』(<http://www.gcn-osaka.jp/project/project-finalreport.htm>)
- C・ショーラック(1986)「外国人留学生の受入と送出しに関する政策と問題ーアメリカの現況ー」広島大学教育研究センター『大学論集』15、85-141
- 独立行政法人日本学生支援機構(2012)『留学交流』11.1-3
- 苑 復傑(2010)「グローバル化次代における留学と留学生政策ー東アジアの視点からー」『桜美林高等教育研究』2、31-41

- Hicks Joe (1990)「留学生からみた日本の大学教育－ミスマッチへの処方箋」『教育と情報』382、20-25
- 平野健一郎(2008)「新しいアジアの留学地図とその意味」『アジア研究』54(4)、3-9
- 石渡嶺司・山内太地 (2012)『アホ大学のバカ学生 グローバル人材と就活迷子のあいだ』
光文社新書
- 中本博皓(2004)「日本経済と外国人労働者政策－留学生の受入も含めて－」『環境創造』6、3-28
- 自由民主党外国人交流推進議員連盟(2008)「人材開国！日本型移民政策の提言」
- 喜多村和之(1999)「グローバリゼーションと大学の「国際化」戦略」『文部時報』1471、20-23
- 奥村圭子(2008)「英国の留学生政策に見る国家戦略」『留学生センター紀要』4、3-14
- 太田浩(2008)「アジアの外国人留学生政策と諸課題」『アジア研究』54(4)、26-43
- 岡田昭人・岡田奈緒美 (2011)「日本における留学生受入政策の史的展開過程と現状に関する一考察」『学苑』847、11-21
- 佐藤誠三郎(1998)「新しい留学生制度の創設を」『大学と学生』401、23-28
- 関 志雄(1998)「留学生政策の破綻：求められる「量」から「質」への発想転換」『大学と学生』401、16-22
- 武田知子(2006)「大学における留学生教育」『恵泉女学園大学紀要』18、109-124
- 田部井圭子(1989)「留学生政策と問題点」『亜細亜大学教養部紀要』39、42-33
- 東條加寿子(2010)「大学国際化の足跡を辿る－国際化の意義を求めて－」『大阪女学院大学紀要』7、87-101
- 坪井 健(2009)「アジアと日本の留学交流政策の現状」『アジア教育研究』3(2)、78-83
- 杉村美紀(2008)「アジアにおける留学生政策と留学生移動」『アジア研究』54(4)、10-25
- 杉村美紀(2005)「アジア諸国における高等教育戦略としての留学生政策－日本へのインパクトと課題－」『日本教育社会学会大会発表要旨集録』57、27-28
- 杉村美紀(2003)「日本の留学生政策とアジア諸国との留学交流－中国人留学生に注目して」『上智大学教育学論集』28、19-31
- 横田雅弘・白土 悟(2004)『留学生アドバイジング 学習・生活・心理をいかに支援するか』ナカニシヤ出版
- 米澤彰純(2007)「新たな段階に入った留学生政策と大学主体の質保証」『留学交流』19(8)、2-5
- 吉田良生(2004)「日本社会の将来と留学生戦略」『朝日大学留学生別科紀要』2(2)、49-58
- 文部省学術国際局留学生課 (1984)「21世紀への留学生政策の展開について」『文部時報』1289、83-95
- 文部科学省国際局ユネスコ国際部留学生課(1983)「21世紀への留学生政策に関する提言について（文部省のまど）」『文部時報』1277、76-88